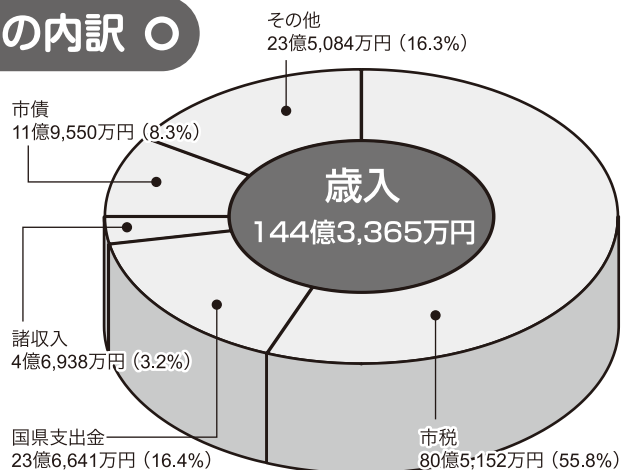
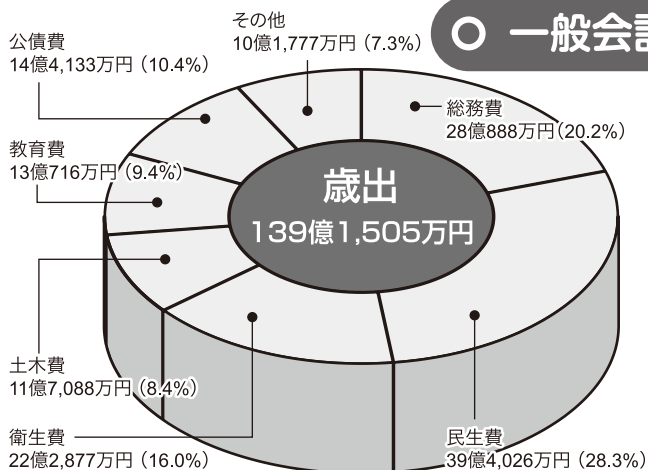


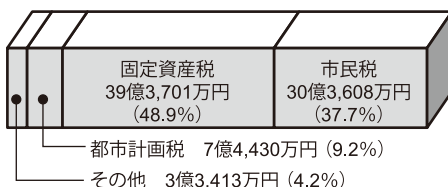
○ 一般会計の内訳 ○



○ 歳出内訳 ○

- 総務費 ……28億888万円
◎総務管理費 ◎徴税费など
- 民生費 ……39億4,026万円
◎社会福祉費 ◎児童福祉費
◎生活保護費
- 衛生費 ……22億2,877万円
◎保健衛生費 ◎清掃費
- 土木費 ……11億7,088万円
◎道路橋りょう費 ◎都市計画費
◎交通安全対策費など
- 教育費 ……13億716万円
◎小中学校費 ◎幼稚園費
◎社会教育費など
- 公債費 ……14億4,133万円
- その他 ……10億1,777万円
◎議会費 ◎農林水産業費
◎商工費 ◎消防費など

○ 市税内訳 ○



○ 歳入内訳 ○

- 市税 ……80億5,152万円
◎市民税 30億3,608万円
◎固定資産税 39億3,701万円
◎都市計画税 7億4,430万円
◎その他 3億3,413万円
【軽自動車税、市たばこ税】
- 国県支出金 ……23億6,641万円
◎国 16億8,659万円
◎県 6億7,982万円
- 諸収入 ……4億6,938万円
- 市債 ……11億9,550万円
- その他 ……23億5,084万円
◎地方譲与税
◎地方消費税交付金
◎自動車取得税交付金
◎地方特例交付金
◎地方交付税
◎使用料および手数料
◎財産収入 ◎寄附金
◎繰入金 ◎繰越金など

一般会計のあらまし

平成21年度の本市の一般会計決算状況は、歳入決算額144億3,365万円に対して、歳出決算額139億1,505万円であり、差し引き5億1,860万円となりました。このうち、総務費などの財源として3,919万円を平成22年度に繰り越していますので、実質的な収入と支出の差額は4億7,941万円となっています。

この決算額を前年度と比較すると、歳入で6億6,912万円の増、歳出で9億6,816万円の増となっています。

歳入の主なものは、市税が80億5,152万円で、全体の55.8%を占め、以下、国県支出金の順となっています。

歳出の主なものは、民生費、衛生費で、合わせて61億6,903万円となり、全体の44.3%を占めています。

健全化判断比率
について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく高浜市の平成21年度決算における指標は以下のとおりです。なお、健全化判断比率については、監査委員の意見書を付して、9月定例市議会にて報告をしました。

	健全化判断基準	早期健全化基準	説明
実質赤字比率	—	13.44%	実質赤字比率とは、一般会計などの黒字か赤字かを判断する指標で、家計で言えば、年収に対する赤字の割合を示したものです。
連結実質赤字比率	—	18.44%	連結実質赤字比率とは、実質赤字比率を、公営企業会計を含めた全会計に適用したものです。
実質公債費比率	7.0%	25.00%	実質公債費比率とは、家計で言えば、年収に対する年間の借入金返済額の割合を示したものです。
将来負担比率	20.9%	350.00%	将来負担比率とは、家計で言えば、年収に対する将来見込まれる借入金(全会計)の割合を示したものです。

平成21年度決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、いずれの指標についても健全でありました。